



(茨城県立歴史館蔵)



『内科秘録』(茨城県立歴史館蔵)



本間 玄調 ほんま げんちよう

文化元年(1804)ー明治5年(1872)

水戸藩種痘の功労者
小美玉市・水戸市

茨城郡小川村(小美玉市)生まれ。本名は資章。号は桑軒。文政2年(1819)に本間益軒の養子となり、医業を志すことを決め、翌年17歳で江戸に出て、水戸藩医の原南陽に師事する。その後、蘭方医学や儒学を学ぶ。また、和歌山藩の華岡青洲の門をたたき、外科の技術を学んで習得するほか、長崎に出て、シーボルトからも医術を学ぶ。文政11年(1828)小川村に帰郷し、益軒の下で医療活動を始める。天保14年(1843)に水戸藩の侍医に登用され、弘道館の医学館教授を兼ねる。玄調の活動は、診療や教育の他に種痘法の普及や著述など多方面にわたっている。

主な内容

- ▼ 新春賀詞交歓会を開催
- ▼ 小学生に建設業の魅力をPR
- ▼ 建災防県支部の31年度上半期講習日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

働き方改革などを一層推進

平成31年新春賀詞交歓会を開催

本会は1月11日、(一財)県建設技術管理センター、県建設業協同組合とともに、平成31年新春賀詞交歓会を水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。来賓や会員など約250人が出席。働き方改革や生産性向上などの取り組みをより一層進め、県民の安全・安心を確保する地域の守り手としての役割を果たしていくことを誓い合いました。

冒頭、石津健光会長は「平成最後となる新春を皆さまとお祝いできることはこの上ない喜び」とし、昨年を「ICTを活用した生産性の向上や、週休2日制の導入、定着をはじめとする働き方改革への対応を大きく迫られた年だった」と振り返りました。



石津会長

そして、県や国土交通省の協力のもと、週休2日制促進に向けて県内公共工事一斉休日を設定したことを紹介し、「まずは試行という形で行い、取組状況や問題点などを調査し、新年度からの本格的な実施につなげてまいりたい」と意欲を示しました。

最後に「建設業界は地域インフラの整備や維持管理、災害への対応など、最前線で安全・安心を確保する地域の守り手としての役割を担っている。地域の基幹産業としての社会的使命をしっかりと果たしていく」と結びました。

その後、来賓各位がそれぞれ祝辞を披露。来賓の紹介後には、高橋靖水戸市長の発声で出席者全員が乾杯し、本年のさらなる飛躍を誓い合いました。



議員や行政幹部、関係団体など約250人が出席しました



高橋水戸市長の音頭で乾杯し、さらなる飛躍を誓いました

地域の守り手としての役割果たす

ご来賓から祝辞を頂きました

大井川 和彦 茨城県知事



昨年は自然災害が多発し、本県も台風などの被害を受けました。県土の強靱化のニーズは大きく、河川などの整備を中心に、優先順位をしっかりと決め、メリハリをつけた形で進捗が目に見えるよう工事を進め、引き続き災害に強い県土づくりを推進していきます。

岡田 広 参議院議員



昨年6月に働き方改革関連法案が成立し、時間外労働の上限規制や年休の取得義務など、今後、建設業もさまざまな変化があると思います。週休2日制の実現には働く人の賃金の上昇などといった環境づくりが必要なので、しっかり対応してまいります。

梶山 弘志 衆議院議員(自由民主党県支部連合会会長)



平成は大きな変化のあった時代でした。右肩上がりの時代ではなくなり、そうした変化にシなやかに対応できる社会づくり、業界づくりが今後の課題になります。災害の少ない地域づくりや、将来、多くの方が地域を訪れることができるようなインフラ整備に全力で頑張りたいと思います。

上月 良祐 参議院議員



現場の声をしっかりと聞き、地元発注や適切な価格、工期の設定などを行政に働き掛けていきます。地域経済の活性化のために、官公需と民需が良い循環を生み出し、ソフトとハードが連携して事業につながっていくよう頑張っ てまいります。

神田 裕 衆議院議員



皆さまには本県経済を支える基幹産業として大変なご貢献をいただいているとともに、地域の安全・安心を守るという大切な役割も担っていただいています。本年が実りある素晴らしい年となることをご祈念申し上げます。

佐藤 信秋 参議院議員



若者や女性の入職を増やすには、建設業を新しい3K（給料・休暇・希望）の職場にして、魅力ある産業にしていかなければなりません。これは国・県・市町村など発注者の責任でもあります。皆さまと一緒に、良い社会づくりに努力していきます。

賀詞交歓会 参加者の声

- ◆いつ起こるかわからない災害への備えを大切にしたい。防災・減災対策がより一層進む年となることを期待する（県北）
- ◆自治体との連携を深めつつ、人材育成や会員の維持・拡大などに取り組んでいきたい（県央）
- ◆業界が発展し、明るく希望の持てる、飛躍の年となることを期待している（鹿行）
- ◆本年は亥年で平成最後の年。イノシシの

ように常に前へとチャレンジしていきたい（県南）

- ◆働き方改革や生産性向上に対応するため、週休2日制やICT活用の研修会等を開催していきたい（県西）
- ◆学生などと直接ふれあひながら、入職者の確保に向けて活動をますます盛んにしていきたい。ICT講習会なども精力的に開催していく（未来協）

小学生に建設業の魅力PR

40人が東関道の現場を体験



重機の操作にチャレンジ

本会は1月19日、茨城県教育財団県立中央青年の家のイベント「I Love いばらき！」に協力しました。県内の小学生約40人が行方市次木の東関東自動車道の地盤改良工事現場を訪れ、重機や高所作業車の試乗、小型消波ブロックづくりなどを通して建設業の魅力に触れました。

参加した児童たちは、常総国道事務所の担当



担当者から説明を受ける子どもたち

者から東関東自動車道の事業概要について説明を受けたあと、5つのグループに分かれ、高所作業車や重機に試乗。ドローンで撮影した映像のリアルタイム視聴も行いました。

体験終了後に児童たちは「初めて重機を運転できて楽しかった」「ドローンを近くで見られてよかった」などと感想を話していました。

ドローン活用し生産性向上

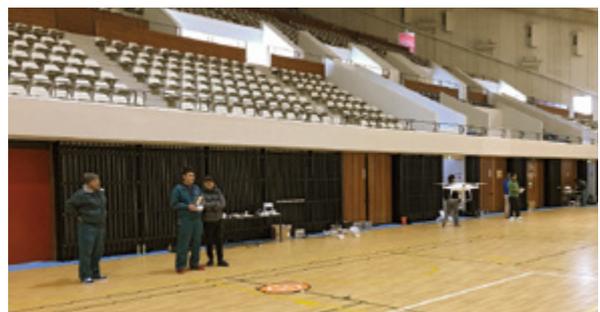
全国建産連が講習と認定試験

全国建設産業団体連合会（渡邊勇雄会長、全国建産連）は昨年末、県建設産業団体連合会（石津健光会長）と協力し、ひたちなか市の笠松運動公園でドローンの操縦士育成講習（Aコース）と操縦士認定試験（Bコース）を実施。Aコース参加者は基礎を学び、Bコース参加者は認定資格の取得を目指し、筆記や実技の試験に挑みました。

Aコースには8人が参加し、3日間で操縦や撮影、メンテナンスなどの基本技術を学びました。

Bコースは10時間以上の飛行経験者18人が参加。認定講座で専門的な知識を取得した後、筆記や実技の試験を受けました。その後の結果発表では、見事18人全員が合格となりました。

全国建産連では「建産連ドローン操作資格認定制度」の創設を目指しており、昨年度からUAVに関連した各種講習会を開催しています。今回は定員を上回る申し込みがあり、反響が大きかったことから、来年度も開催する見通しです。



講習と認定試験が行われました

大子支部
活動報告

大子工務所と意見交換

大子支部（大藤博文支部長）は昨年12月18日、大子合同庁舎で県大子工務所（清代英明所長）との意見交換会を開催しました。設計内容や働き方改革、検査のあり方、ICT施工などを議題とし



働き方改革などについて意見を交換しました

て、活発に議論を交わしました。

大子支部から6人、大子工務所から4人が出席。大子支部は設計図面と現場状況との差異、交通誘導員の実際の日当たり施工量と標準施工量の乖離への対応、書類の簡素化による業務量の削減などを要望しました。また、働き方改革やICT施工に対する大子工務所の考え方などについて質問し、これらの提案や意見に対して、大子工務所が回答しました。

清代所長は「意見交換会を通じて、現場で抱えている問題点などを共有することができたと思う。現在の建設業界は変革の時期にあると考えている。この機会を逃さず、大子支部の皆さまと協力して新しいことに挑戦していきたい」と話しました。

境支部
活動報告

工事の安全対策学ば

境支部（新井孝支部長）は1月20日、県境工事事務所（瀬川潔所長）とともに同支部会館で勉強会を開催しました。支部員や境工事事務所の職員など約50人が参加し、フルハーネス型安全帯や工事の安全対策などについて学びました。

会に先立ち、瀬川所長、新井支部長がそれぞれあいさつ。

勉強会では、建設業労働災害防止協会茨城県支部の塚本晋次事務局長が「フルハーネス型安全帯義務化に向けての説明」と題し、従来の安全帯と墜落制止用器具の違い、特別教育が必要となる作業、作業時のポイントなどを解説しました。

続いて、境工事事務所の沖田茂雄検査監が「建設工事安全対策の計画と管理」について事故事例



安全に対する意識を高めました

などを交えながら、再発防止策や安全管理のポイントなどを話すとともに、安全管理を意識した施工計画書の作成例などを説明しました。

建設業労働災害防止協会茨城県支部 平成31年度開催予定表(上半期)

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
4	2	3	玉掛け	鹿島港湾福祉センター	(学科)	
	4	5		サンロード鹿島駐車場	(実技) 4、5日のいずれか	
	8	月	フルハーネス型安全帯特別教育	古河市商工会三和事務所	○	
	9	10	小型移動式クレーンの運転	サンロード鹿島	(学科)	
	11	12		サンロード鹿島駐車場	(実技) 11、12日のいずれか	
	16	17	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)	
	18	19		建荷協研修センター	(実技) 18、19日のいずれか	
	23	24	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)	
	25	26		建荷協研修センター	(実技) 25、26日のいずれか	
	27	土	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター		
29	30	月	小型車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター	(30日実技)	
5	7	8	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター		
	9	10	足場作業主任者	建荷協研修センター		
	11	土	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター		
	14	15	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター	(学科)	
	16	17		建荷協研修センター	(実技) 16、17日のいずれか	
	15	水	刈払機取扱作業者	建荷協研修センター2階		
	18	土	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター		
	21	22	玉掛け	茨城県建設業協会筑西支部会館	(学科)	
	23	24		茨城県トラック協会県西地区研修会館駐車場	(実技) 23、24日のいずれか	
	27	28	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター		
29	水					
30	31	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館			
6	1	土	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター		
	4	5	高所作業車の運転	古河市商工会三和事務所	○(学科)	
	6	7		古河市商工会三和事務所駐車場	○(実技) 6、7日のいずれか	
	10	月	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設業協会高萩支部会館		
	11	12	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)	
	13	14		建荷協研修センター	(実技) 13、14日のいずれか	
	17	18	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ		
	19	20	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	つくば市商工会谷田部支所会館	○	
	21	金				
	24	月	自由研削といしの取替等の業務	建荷協研修センター2階		
	24	25	月	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	25	26	火	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	27	28	木		鹿島港湾福祉センター	(実技) 27、28日のいずれか
29	土	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター			

月	日	曜日	講習名	会場	備考		
7	2	3	火	水	玉掛け	つくば市商工会谷田部支所会館	○(学科)
	4	5	木	金		つくば市商工会谷田部支所会館	○(実技) 4、5日のいずれか
	9	10	火	水	小型移動式クレーンの運転	石下建設会館	(学科)
	11	12	木	金		石下建設会館駐車場	(実技) 11、12日のいずれか
	15	16	月	火	ローラー系機械(締固め用)の運転	建荷協研修センター	(16日実技)
	16	17	火	水	型枠支保工作業主任者	建荷協研修センター2階	
	17	18	水	木	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	22	23	月	火	職長・安全衛生責任者	牛久市商工会館	○
	24	25	水	木	木造作業主任者	建荷協研修センター	
	26		金		足場の特別教育	石下建設会館	
	29	30	月	火	石綿作業主任者	建荷協研修センター	
31		水		フルハーネス型安全帯特別教育	つくば市商工会谷田部支所会館	○	
8	1	2	木	金	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター	
	5		月		刈払機取扱作業	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	6	7	火	水	足場作業主任者	牛久市商工会館	○
	8	9	木	金	職長・安全衛生責任者	古河市商工会三和事務所	○
	16		金		職長・安全衛生責任者能力向上	建荷協研修センター	
	19		月		現場管理者統括管理	建荷協研修センター	
	20		火		丸のこ等取扱作業従事者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	21		水		フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	22	23	木	金	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター	(23日実技)
26		月		酸素欠乏・硫化水素危険作業	建荷協研修センター		
9	2		月		フルハーネス型安全帯特別教育	牛久市商工会館	○
	3	4	火	水	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	5	6	木	金		建荷協研修センター	(実技) 5、6日のいずれか
	10	11	火	水	小型移動式クレーンの運転 (申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○(学科)
	12	13	木	金		石下建設会館駐車場	○(実技) 12、13日のいずれか
	17	18	火	水	玉掛け	ひたちなか商工会議所会館	○(学科)
	19	20	木	金		建荷協研修センター	○(実技) 19、20日のいずれか
	23	24	月	火		職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター

注：技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定します。

*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

58兆円超に上方修正

31年度の建設投資見通し

年度	平成27	平成28 (見込み)	平成29 (見込み)	平成30 (見通し)	平成31 (見通し)
名目建設投資 (対前年度伸び率)	509,828 -0.3%	535,700 5.1%	560,200 4.6%	568,400 1.5%	582,200 2.4%
名目政府建設投資 (対前年度伸び率)	212,752 -6.9%	223,800 5.2%	230,400 2.9%	229,500 -0.4%	244,400 6.5%
名目民間住宅投資 (対前年度伸び率)	147,439 4.4%	156,800 6.3%	159,900 2.0%	162,000 1.3%	160,500 -0.9%
名目民間非住宅建設投資 (対前年度伸び率)	149,637 5.7%	155,100 3.7%	169,900 9.5%	176,900 4.1%	177,300 0.2%

建設経済研究所と経済調査会経済調査研究所は、「建設経済モデルによる建設投資の見通し」(平成31年1月版)を公表しました。

国の30年度第1次・第2次補正予算および31年度当初予算の事業費を反映させた結果、大幅に上方修正しており、30年度の建設投資は前年度比1.5%増の56兆8400億円、31年度は同比2.4%増の58兆2200億円と予測しています。

昨年10月推計との比較では、30年度は1700億円増、31年度は3兆700億円増の大幅な増加となりました。建設投資が58兆円を超えるのは60兆円を下回った14年度以来で、30年度の建設投資も14年度と同水準になる見込みです。

3月は「労災防止強調月間」です

建設業労働災害防止協会



保証事業の概況を報告

保証事業茨城協議会が定例会



東日本建設業保証(株)茨城支店では、保証事業の健全な発達と円滑な運営に資するために設置している保証事業茨城協議会(会長=石津健光本会会長)の平成30年度定例会を1月30日、水戸市の水戸プラザホテルで開催しました。会議では、本年度12月期における業務概況の報告等がありました。

ちよつと一言



本県では、2019年9月に「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」というスローガンのもと、45年ぶりとなる「第74回国民体育大会(愛称:いきいき茨城ゆめ国体)」が開催されます。

スポーツをする人も、見る人も、県民全てがスポーツのもたらす感動を共有できる大会になりますとともに、「魅力あるいばらき」の発信になりますよう、祈念いたします。(S)